

Ⅶ期評価およびCSTP指摘事項等の評価担当表(案)

番号	項目	池島	今中	門永	河野	瀧澤	富樫	中島	深尾	矢野	若土	渡邊	評価数	備考 (類似項目等)	
1	はじめに														
2	基本的考え方														
	2.1 観測計画策定														
	2.2 設営計画及び支援計画の取組状況とその効果														
C S T P	① 後継船による効率的な輸送体制の整備													個別の計画 に反映	
	② 南極条約保護議定書に基づく環境保全対策の推進														
	③ 省エネルギー化、自動化や自然エネルギーの導入														
	④ 昭和基地等の観測プラットフォームの充実														
2.3 国際貢献－国際極年2007-2008への積極的参加															
2.4 第50次観測への対応															
2.5 「しらせ」後継船就航を契機とした新たな観測計画の実施状況とその効果															
C S T P	① 観測の高度化、観測域の拡大														
	② 弾力的かつ多様な輸送形態の充実と夏期観測活動の強化														
	③ 国際共同観測の推進、南極観測未参加国への連携支援														
	④ 大学院生を含む研究者への門戸の一層の拡大														
	⑤ 隊員の身分、同行者の位置付けの整備														
	⑥ 報道関係者、教育関係者、芸術家等の幅広い分野の人材の同行による国民へのアウトリーチ活動														
	⑦ 科学技術、環境、教育、外交等の政策検討のための視察団の派遣														

Ⅶ期評価およびCSTP指摘事項等の評価担当表(案)

番号	項目	池島	今中	門永	河野	瀧澤	富樫	中島	深尾	矢野	若土	渡邊	評価数	備考 (類似項目等)	
3	観測計画の概要														
	3.1 研究観測														
	3.1.1 重点プロジェクト研究観測														
	極域における宙空－大気－海洋の相互作用からとらえる地球環境システムの研究														
	サブテーマ(1): 極域の宙空圏－大気圏結合研究		◎	◎								◎		2	
	サブテーマ(2): 極域の大気圏－海洋圏結合研究														
	重点プロジェクト研究観測総合評価														個別評価実施後作成
	3.1.2 一般プロジェクト研究観測														
	1) 氷床内陸域から探る気候・氷床変動システムの解明と新たな手法の導入														
	2) 新生代の南極氷床・南大洋変動史の復元と地球環境変動システムの解明														
	3) 極域環境変動と生態系変動に関する研究					◎	◎	◎						6	
	4) 隕石による地球型惑星の形成及び進化過程の解明														
	5) 超大陸の成長・分裂機構とマントルの進化過程の解明														
	6) 極域環境下におけるヒトの医学・生理学的研究														
	一般プロジェクト研究観測総合評価														個別評価実施後作成
	3.1.3 萌芽研究観測														
	1) 南極昭和基地大型大気レーダー計画		◎								◎	◎		2	
	2) 極限環境下の生物多様性と環境・遺伝的特性														
	萌芽研究観測総合評価														個別評価実施後作成
	3.1.4 モニタリング研究観測														
	1) 宙空圏変動のモニタリング														
	2) 気水圏変動のモニタリング														
	3) 地殻圏変動のモニタリング								◎			◎		5	
4) 生態系変動のモニタリング				◎											
5) 地球観測衛星データによる環境変動のモニタリング															
モニタリング研究観測総合評価														個別評価実施後作成	
3.2 定常観測															
3.2.1 電離層観測(総務省/情報通信研究機構)															
3.2.2 気象観測(気象庁)															
3.2.3 測地観測(国土地理院)		◎								◎		◎	5		
3.2.4 海洋物理化学観測(海上保安庁)															
3.2.5 潮汐観測(海上保安庁)															
定常観測総合評価														個別評価実施後作成	

Ⅶ期評価およびCSTP指摘事項等の評価担当表(案)

番号	項目	池島	今中	門永	河野	瀧澤	富樫	中島	深尾	矢野	若土	渡邊	評価数	備考 (類似項目等)
4	設営計画の概要												5	民間との共同研究の推進状況
	4.1 「しらせ」後継船就航に伴う輸送システムの整備													2. 2①
	4.2 環境保全の推進													2. 2②
	4.3 自然エネルギーの活用と省エネの推進									◎	◎	◎		2. 2③
	4.4 基地建物、車両、諸設備の維持													2. 2④
	4.5 情報通信システムの整備と活用													
	設営に関する総合評価													個別評価実施後作成
5	観測支援体制の充実												5	
	5.1 観測隊の安全で効率的な運営													2. 5④
	・柔軟な隊員編成、効率的な訓練、安全教育の実施状況													2. 5②
	・隊員、同行者の位置づけ													2. 5⑤
	・安全な準備作業、現地への輸送、基地設備の保守の運用状況													2. 5②、4. 1
	・通信機材の整備状況		◎		◎		◎							4. 5
	5.2 「しらせ」後継船による運航体制の確立													
5.3 航空機の利用													2. 5②	
5.4 海洋観測専用船の利用														
5.5 新しい観測拠点の展開													2. 5①	
	観測支援体制の充実に関する総合評価													個別評価実施後作成
6	国際的な共同観測の推進	◎		◎				◎					1	2. 5③、5. 5
7	情報発信・教育活動の充実												2	
	7.1 積極的な情報の発信	◎		◎		◎								2. 5⑥
	7.2 教育の場としての活用													2. 5⑥
8	次期中期計画の展望													
	1) 観測計画													
	2) 国際協力													
	3) 幅広い人員の参加													
	4) 環境保全と新エネルギーの利用													
	5) アウトリーチ・教育活動													
9	年次計画													
	9.1 観測計画													
	9.2 設営計画													

Ⅶ期評価およびCSTP指摘事項等の評価担当表(案)

番号	項目	池島	今中	門永	河野	瀧澤	富樫	中島	深尾	矢野	若土	渡邊	評価数	備考 (類似項目等)
C S T P 3	南極地域観測事業の推進・実施体制の適確性													
	① 総合科学技術会議の事前評価の指摘を踏まえ新たに設置された「観測事業計画検討委員会」、「外部評価委員会」の構成・活動内容を含めた事業全体のマネジメント体制	◎								◎		◎	2	
	② 観測実施機関の役割分担と連携													
C S T P 4	南極地域観測事業の継続の意義と今後の発展性													
	① 科学的な貢献													
	第Ⅰ期から第Ⅶ期までの期別の①研究観測及び②定常観測についての具体的な学術成果(論文数及び主要な成果とこれに係る国際比較)と第Ⅶ期における目標の達成状況等													
	② 国際的な意義		◎	◎				◎					5	
	③ 我が国の地球観測上の位置付け													
	衛星の活用等他の観測技術との補完関係を含めた我が国の地球観測全体における位置付け、必要性等													
	④ 取組みを強化または見直すべき観測													
	⑤ 運営経費の合理的な使途の観点等から改善すべき事項													

Ⅶ期評価およびCSTP指摘事項等の評価担当表(案)

番号	項目	池島	今中	門永	河野	瀧澤	富樫	中島	深尾	矢野	若土	渡邊	評価数	備考 (類似項目等)
事前評価・フォローアップにおける指摘事項														
①観測計画立案の視点とその公開性・国際性について	・ 観測事業計画検討委員会、外部評価委員会の審議状況												1	第17回までに準備
	・ 観測計画の公募の状況(内容、方法等)、国際的な視点を考慮して実施しているか。												1	
	・ 独自の学術価値の高い成果の創出	◎		◎									1	
	・ 国際共同観測プロジェクトの立案・推進												1	
	・ 世界の環境研究プログラム等への主体的な関与												1	
	・ 南極条約下の各種委員会への参画												1	
	・ 関連国際学会との連携												1	
②推進・支援体制の改革や整備について	・ 定常観測の自動化・省力化												1	第17回までに準備
・ 基地の設営・運営において民間委託を活用												1		
・ 自動観測装置や新エネルギーの導入等の観測機器・設備の高度化に向けた検討結果						◎			◎		◎	1		
・ 資格要件を含めた観測隊員の募集の仕組みを見直す												1		
・ 教育体制の充実や幅広い分野の学生への情報発信												1		
③将来に向けた輸送体制について	・ 南極と大陸間の年2回輸送を初め、極域観測、国際共同観測等、観測・輸送要求へ柔軟に対応への状況												1	第17回までに準備
・ 物資の輸送については、民間の活用も視野に効率的な体制を検討状況												1		
・ 研究要員の輸送については、新たに開始された国際共同による航空機の運行について更に充実を図る												1		
・ 観測成果を充実するために、輸送コストの低減方策や資源配分バランスを慎重に検討												1		
④情報の発信について	・ 学術的な成果については、現状以上に積極的に国内外の学会・学術誌等へ発信していく												1	第17回までに準備
・ 観測事業で得られた資料を各方面の研究者にとってさらに使い勝手の良い整理が必要												1		
・ 戦略的な国内外への広報活動を充実すること												1		
その他の事項	① 将来の輸送体制の効率化に向けた検討の継続		◎		◎								1	第17回までに準備
	担当箇所数	7	5	6	3	4	3	5	1	5	4	5		
	評価項目数(目安)	13	15	15	13	10	13	12	2	15	13	14		